

第9回

消費生活相談員が誕生



消費生活相談員
後藤 真由美

この度、消費生活専門相談員として、市役所市民課に勤務することになりました後藤真由美です。

これまで消費生活モニターや県のくらしのクリエイターを経験し、価格調査や、食品の量目検査、学習会への参加や、出前講座などの活動を行ってきました。

その中で、私たちにとって身近な消費生活に多くの問題があること、また、それを知

らないことが多いことに驚きました。

商品の表示や安全性、またその取引において、私たち消費者は、情報や知識の量などから事業者より弱い立場であることが多くあります。

また、違反行為になるような勧誘や販売を繰り返す悪質な業者もたくさんいます。

消費者である私たちは、不安や疑問があっても、泣き寝入りしてしまったり、だまされていくこと自体に気づかなかつたりしている場合が多いのが現状です。

このような中で、安心して安全な暮らしを守るために、消費者である私自身も学んでいかなければならないと思ひ、さまざまな活動をしながら、消費生活専門相談員の資格をとりました。

これから、相談員として皆さんの役に立てるよう、が

んばりたいと思います。

今、消費者に関する法律は度々改正され、消費者庁の設置など、政策や世論が事業者の視点から、消費者の視点へと少しずつ変わってきています。

日頃、皆さんが消費者として感じておられることの中で不安や疑問、訪問販売などで必要ない高額なものを買うことになってしまったなど、困ったことがあったときは、まず相談にお越しください。

その他、サラ金やクレジットの返済が厳しく、新しく借金をして返済にあてるような悪循環に陥ることがあります。長年返済を続けていた方の中には、払い過ぎていて、そのお金を取り戻せる場合もあります。

このような借金で困っている方も迷わずご相談ください。

消費生活相談窓口

市役所市民課

(☎ 662-3163)

まちの文化財 55

く蔵垣かいこの里



大屋町蔵垣の「上垣守国養蚕記念館」

蔵垣かいこの里公園には、上垣守国養蚕記念館、かいこの里交流施設、かいこ飼育所があります。

上垣守国養蚕記念館は、昭和初期の形式で作られた3階建の木造瓦葺の養蚕農家です。玄関を入ると土間で、突き当たりにはクドがあります。

玄関の横には小便タンクがあり、左側には付属屋として牛を飼うための牛舎があり、平成7年に開館しました。

上垣守国は、明和7年(1770)18歳から陸奥国伊達郡福島などに往来し、先進地の蚕種を持ち帰り、但馬・丹後に広めて蚕種改良に尽力しました。

そして享和3年(1803)、48歳の時に養蚕秘録という養蚕の技術書を出版しました。

その後、文化3年(1806)56歳の若さで亡くなりました。記念館では、上垣守国の業績をたえ、養蚕秘録や上垣守国が使用した煙草入れ、筆の入口た矢立などを展示しています。

養蚕秘録はシーボルトが日本からオランダに持ち帰り、オランダ王室通訳官ホフマンがフランス語訳し、嘉永元年(1848)にパリとトリノで出版され、日本国内でも明治20年(1887)まで出版され続けました。

かいこの里では、毎年5月20日頃から養蚕をはじめ、6月15日頃にはすがいて上ぞくさせ、その後、一週間ほどで繭を取ります。

また但馬内の希望する小学校にはやや大きくなつた蚕を教材として寄贈しています。

学校では2週間ほど飼って繭に育てています。

これらの施設は、蔵垣区が中心となり「かいこの里の会」が指定管理者となり運営しています。交流施設では桑の葉うどんなどの食事もできます。蚕を飼育している6月に、ぜひ団体で見学にお越しください。

(教育委員会社会教育課)

「健康」 ワンポイント アドバイス



保健師
小谷純子

「認知症」と間違えやすい 「高齢者のうつ病」

誰でも悲しい事があると気持ち落ち込みます。

多くの人は、時間の経過とともに回復し、次第に元の生活に戻ることができるようになります。

ところが、落ち込んだ気分が長く続き、生活に支障が出るような状態を「うつ病」といいます。

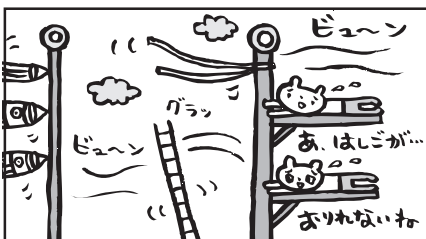
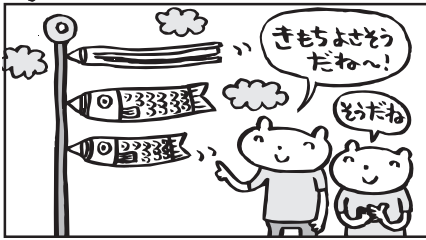
高齢者のうつ病は、認知症とよく似た症状があるので、認知症と間違えられることがあります。

その違いは次のとおりです。まわりの対応で気をつける事は①おかしいなと思つたらまず、医師の診察を受けるよう勧めましょう②ゆっくり話を聞いてあげましょう③非難や励ましは禁物です。気になることや相談は市役所健康課

☎66213167

やっちゃんぶうちゃん

作:アーモンズ vol.59
こいのぼりの巻



◎うつ病と認知症の違い

	うつ病	認知症
感情	抑うつ気分が続いている	悲哀感が乏しい
症状の訴え方	自分を責める、悲観的、深刻	症状を軽めに言う
質問への反応	反応が遅い	わからないとき、言い訳をする
時間、場所などの理解	ほとんど理解している	理解できない事が多い
身の回りの自立	自立していることが多い	困難を生じている事が多い
症状の日内変動	午前中の方が不調	夜間に症状が悪くなりやすい
自殺を考えること	しばしばある	少ない

『男女共同参画』情報



養父市男女共同参画センターニュース Vol.16

「語り、つながり、支えあう」 「だれもが暮らしやすい社会へ」

養父市の外国人登録者数は177人(平成21年3月31日現在)です。

国籍別では、中国・フィリピン・インドネシア・ベトナム・アメリカ・韓国・ロシア・オーストラリア・カナダ・ドイツの10カ国(人数の多い順)にわたります。

多くの人は企業での技術研修のためにこられていますが、日本人の配偶者や家族として暮らしている人もいます。

こうした状況の中で、言葉の壁により地域との交流が薄く、孤立しやすいなどの問題も生じており、お互いの人権や異なる文化を認め合い、尊重しあう関

係づくりが大切になってきています。

共同参画センターでは、今年の3月から、養父市等で生活を始めたベトナムの人たちと、週に1回程度、仕事を終えてから日本語の日常会話や漢字について、おしゃべりを楽しみながら学習し、交流を育んでいます。

時には、ベトナム料理をご馳走になったり、ベトナムでの生活やベトナム語を教わることもあります。

語り、つながり、支えあう生活に密着した多文化交流が始まっています。

【お問い合わせ】養父市男女共同参画センター内
やぶ市女性未来会議事務局

☎66217765

